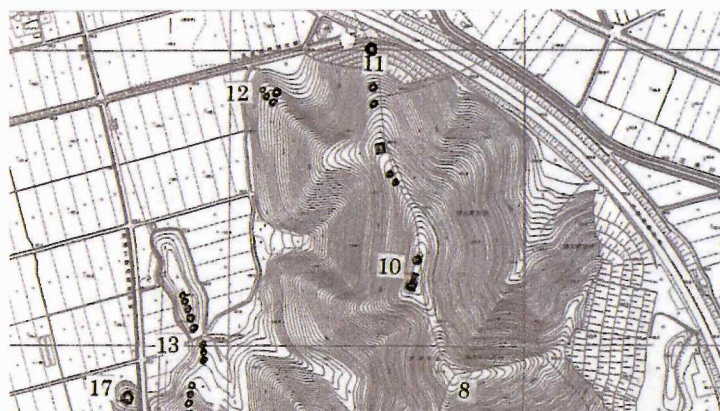
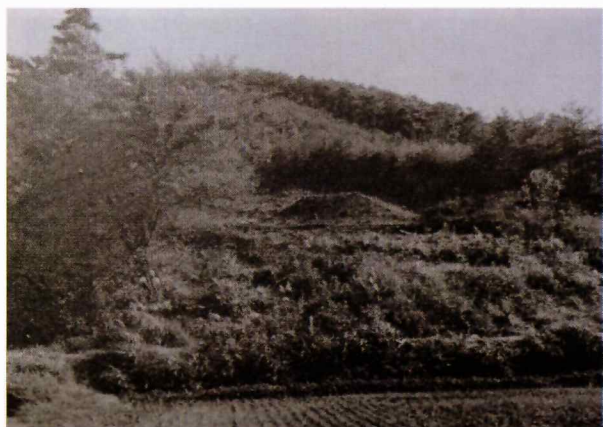




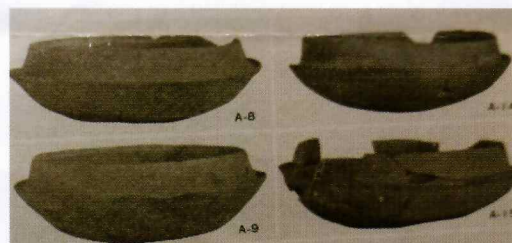
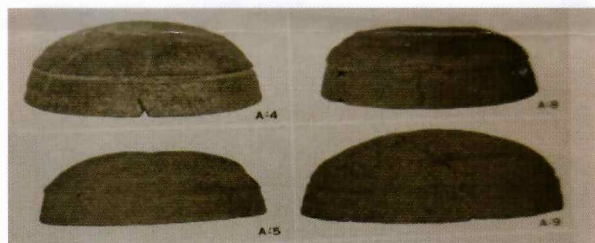
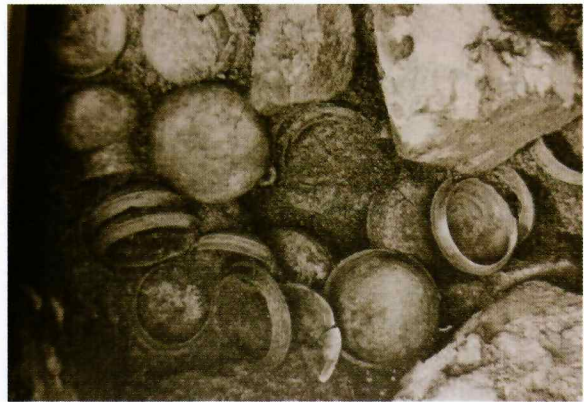
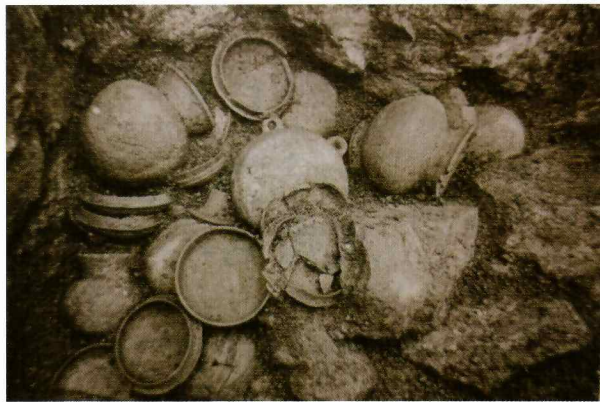
ようこそ
四郷崎古墳へ
i n
虎御前山

昭和へタイムスリップ
(地図No.11、四郷崎古墳)



上、古墳遠景 中左、山脇山・岡山遠望、中右、古墳近景 下、横穴式石室

【虎御前山のしおり4】



その他鉄製刀や
管玉、石斧など
が出土してい
る。武装し、玉
で身を飾る豪族
であったよう
だ。



上左右、遺物出土状況、中左、羨道排水施設、
中右、石室石積み、中央、須恵器、杯蓋、杯身、
下上段左、壺類、下上段右、高杯、
下段、鉄製鏃・やじり、

虎御前山の桜と歩く



時遊館遠景 左虎御前山 右小谷山



丸山橋から見た田川と桜



せせらぎの聞こえる田川の流れと丸山橋(右端)の桜

虎御前山の南に延びる尾根は中野山、長尾山とも呼ばれ「春四月は桜花爛漫の時節」である。それはまた、年々開花が3月に聞かれるように早くなってきた。気候の変動である。

おもわず、ふるさとの桜に出会いたい気持ちでいっぱいである。

古木にからまるツルの木のいろいろ(中野山)



蔦(つた)に絡(から)まれた桜の古木を眼にする事が多くなった。なんとも切ない気持ちである。虎御前山保全顕彰会では、桜の重い息遣いを何とかしたいと想い、幹に巻き付く蔓の抜去を試みた。2024年3月中旬のことである。毎年、中野の公園で桜を愛でるのは一時であるが、静かな対話に応じてくれる。

「桜の古木を守る」気持ちを持ち続け、その輪を近江一円に広げたいものである。

虎御前山城と古墳保全顕彰会 会長横田圭司 (桜の撮影は2024年・令和6年3月)

【山のしおり4】 事務局(時遊館) 藤田守・横田二三子 2025年3月8日